# ゆつあい報

**ODA REGIONAL MEDICAL CENTER** 

祐愛会織田病院企画室 責任者 織田 正道

< 院内報 >

めていきます も皆さんと共に、 に夢と希望を持ち、

(一)昨年を振り返って

努めていきたいと思います。(五七号参照) を得た病院として、全国の病院の手本となれるように 事に再度取り上げられました。今後も、この最高評価 はり、日本医療機能評価機構が行う病院機能評価にお を受けたことです。十二月十六日の日本経済新聞の記 いて、亀田総合病院(千葉県)と並び全国で最高評価 次いでトピックスだったのは、グローバルな人材育 病院において、最も嬉しいトピックスだったのはや

国から多くの仲間を受け入れられる体制作りを進めて や介護を支える基盤として、最も大切なのが人材です。 名)の看護師候補が我々の仲間に加わりました。医療 を作っていきたいと思います。(五八号参照)。 いきます。 少子化がさらに顕著となる十年後を見据え、今後も外 また、昨年もインドネシアから新たに二名(合計四 四

と考えられます 規模多機能型居宅介護の役割はさらに大きくなるもの 化の流れが加速する中、地域密着サービスとしての小 の定員に達し、円滑なスタートを切りました。脱施設 が六月にオープンしました。すでに利用者が二十五名 介護分野では、「小規模多機能型居宅介護ゆうあい」

(二) 連携から、サービス一体化の時代へ

宅医療が進み、介護においても在宅中重度者への対応 地域での面連携が可能となりました。しかし、今後在 システムの構築に力を入れて来ました。これにより、 が急がれる中、 護)の各分野がシームレスにつながる総合ヘルスケア さて、我々はこれまでは保健(予防)・医療・福祉 二十四時間三六五日在宅でのサービス

未来に向けての新たな取り組みを進

一)人間ドック、専門ドック(脳・乳腺ドック)、二次検診 特定健診・特定保健指導へ積極的に取り組む

二)ヘルスアップ事業(ウォーキング教室、 の継続を図る

三) 市民向けの公開講座を恒例化(隔月)し、 浸透を図る 地域への

人間ドック健診施設機能評価受審・認定を目指し ブランド化を図る

### ◎医療分野

医療や介護との一体的サービス提供を進めます る医療の質の向上と、効率化を図ります。また、 「地域に安心と信頼を得る急性期病院として、 更な 在宅

一) 地域に選ばれる病院づくり ①急性期機能強化に向けて

・医師の確保・増員 救急患者受入れ体制充実(救急隊との連携強化

・クリニカルパス六○%利用を目指す

・六四列MDCT、X線透視撮影装置新機種導入 亜急性期病床の検討

②在宅医療や介護との一体的サービス提供を進める 組織再編し、 連携センターを総合ヘルスケアシステ

院内情報を積極的に発信し、 新規入院患者一〇%増

七

未来構想委員会の発足、

法人企画室開設

とらわれない視点や斬新な発想が必要となります。常 うに先例のない時代だからこそ、これまでのやり方に 〜連携から、サービス一先例のない時代にあって、 を見ないスピードで超高齢社会を迎えた日本、このよ いよいよ二〇一一年がスタートしました。 世界に類 特定医療法人 祐愛会理事長 前向きに物事を捉え、二〇一一年 織田正道 けでは十分でなく、更に踏み込んで医療から介護まで を実現していくためには、これら各分野の連携強化だ

ビスが可能なシステム構築を目指したいと考えます。 また、地域の登録医の先生方とも、情報の一元化、共 介護への、今まで以上に円滑な移行が可能となります。 の関係を築くと共に、医療機関同士も、一体的医療サー 有化を進め、医療連携を強化し、互いにウィンウィン 転しました。これにより、急性期病床から在宅医療・ プ内では組織編成は始まっており、昨年十二月、病院 の多機能なサービスを統合し、総合的で一体的に提供 設すると共に、訪問看護ステーションも病院に併設移 内の連携センターに、新たに居宅介護支援事業所を開 可能な組織作りが求められています。すでに、当グルー それでは、二〇一一年のグループ方針を示します。

二〇一一年グループ方針

スケアシステムの構築を目指すと共に、高齢者の住ま して健やかな生活が送れるように、保健・予防・医療・ 介護の各分野が一体的にサービス提供できる総合ヘル 「超高齢社会のニーズに対応し、地域の人々が安心

◎保健・予防分野 いや、生活支援にもウイングを広げて行きます」

栄養教室

を視察し、米国のヘルスケアシステムを直接学ぶ機会

携を利用し、できるだけ多くのスタッフが同センター 国・ハワイ州)との国際姉妹病院の提携です。この提 成を目的とした、カピオラニメディカルセンター(米

いや生活支援にもウィングを広げて行きます」 )地域に選ばれる介護サービスに向けて ③介護予防事業の更なる充実 ②個別性を重視した通所サービスの充実 ①医療との基本電子情報の一元化と共有化を推進

④介護スタッフの能力向上に向けて、「認知症ケア」

⑤コミュニケーション能力の向上・笑顔と挨拶の徹底 教育研修の強化

二 スタッフに選ばれる職場づくり

①多様な勤務形態でワークライフバランスの推進

②子育て支援・介護支援の充実 ③業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮を目指す

三) セイフティーマネジメント (転倒転落防止、 ⑤グローバルケアワーカーの育成と活用 ④人事制度の刷新(考課者訓練の徹底) 院内感

四) 各事業所の安定した運営 染防止)の更なる向上

特定施設の円滑な運営 重点項目の目標値の達成と評価

・基本教育の徹底

**六) 認知症デイサービス二ヶ所開設に向けて万全を期す** ・年内(~十二月)までに全室稼働を目指す

を目指す

医療と介護 (基本)情報を電子化し、 一元化と共有

③医療の質向上を目指して ・TQM(Total Quality Management)推進

一) スタッフに選ばれる職場づくり ①医師業務軽減のためのスペシャル・ドクタークラー クの育成

④コミュニケーション能力の向上・笑顔と挨拶の徹底

②多様な勤務形態でワークライフバランスの推進

③二四時間保育の整備

④業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮を目指す

⑥グローバルナースの育成と活用 ⑤人事制度の刷新 (考課者訓練の徹底)

三)セイフティーマネジメント(医療安全、院内感染防止) の更なる向上

四) 海外研修の充実

・Kapiolani Medical Center(ハワイ)研修プログラム の確立

五) 未来構想委員会の発足、グループ企画室開設

◎介護・福祉分野

症ケアの向上に努めます。さらに、高齢者のための住ま 「医療との一体的サービス提供を進めると共に、 、認知

## ゆうあいビレッジの展望 ケアコートゆうあい施設長

う考えがキーワードとなっています。この「地 討が行われていますが、そこでは二○二五年 「地域包括ケアシステムの構築」の概要が明 域包括ケア」の考え方のもとで、今年中には が論点となっており、「地域包括ケア」とい を見据えた高齢者の医療・介護のあるべき姿 来年の介護保険報酬改定に向け厚労省で検

らかになると思われます。

ります。 る委員会において決定されるという特徴があ 福祉の有識者、 施設があります。 域密着型特定施設、 対応型共同生活介護(グループホーム)、 介護以外に、認知症対応型通所介護、 された新しいサービスで、小規模多機能居宅 サービスとは平成一八年の改正に伴って導入 着型サービス施設の一つです。 この小規模多機能居宅介護というのは地域密 して小規模多機能居宅介護を開設しました。 ゆうあいビレッジでは、昨年新たな施設と 杵藤地区保健福祉事務所をはじめ医療、 地域の代表者などで構成され サービス提供事業者の選定 地域密着型介護老人福祉 地域密着型 認知症 地

が計画されています。 域密着型介護老人福祉施設一〇人の施設整備 護三五〇人、地域密着型特定施設五〇人、 居宅介護一七四人、認知症対応型共同生活介 症対応型通所介護二二四人、 了しつつあります。二三年度末までに、認知 杵藤地区では第四期介護保険事業計画とし 平成二一年度~二三年度の整備計画が完 小規模多機能型

今年は七月に地域密着型特定施設を開設する 居宅介護の施設を開設してきました。そして スとして、これまで認知症対応型共同生活介 予定です。 ゆうあいビレッジでは、地域密着型サービ 認知症対応型通所介護、小規模多機能型 この施設はいわゆる介護付き有料

> うち老健八〇人、 と通所サービスを合わせると、サービス提供 ゆうあいビレッジの責任はますます重くなっ がって、「地域包括ケア」という視点からも、 者数は杵藤地区では最多となります。 でのサービス提供です。これらの居住系施設 同生活介護五三人、特定施設二七人(平成 特養一○七人、老健八○人、認知症対応型共 サービス施設の中では最大規模の施設です。 老人ホームといわれるもので、 一八人、特定施設二七人がゆうあいビレッジ てきます。 二二年五月現在) 鹿島市は、居住系のサービス施設として、 認知症対応型共同生活介護 を整備していますが、この 地域密着型 した

くお願いいたします。 えて行きたいと思っています。 連携を保つことで、 してまた地域の医療・介護施設ともより良い 充実を図るよう努力することはもちろんです 私たちスタッフ自身が地域密着サービスの 本体の織田病院と密に連携しながら、そ 地域の高齢者の期待に答 本年もよろし



**対規模多機能ホームゆうあい** 

### PC iPad / iPhone ISP / WAN / 3G / WI-FI タ通信カード Internet SSL-VPN 院内PC PACS+

# iPad in Real-land

脳外科 広津辰美

ました。診断に自信がなかったし、夜中だっ

たので連絡しませんでした。」。実際に、神経

く「何となく気になったので入院させておき

**モ膜下出血だったこともあります。当直医日** 

CT 読影を依頼され、ごく少量ながらク

たこともよく覚えています。 の英語教師が、 Wonderland。 が教材になりました。 この が極限まで透明になった後ふっと消え、次 く覚えています。チェシャ猫のニタニタ笑い 分・積分を意識して表現したものであると得 消滅と復元は、ルイス・キャロルが数学の微 の瞬間に別の場所へ移動していたからで のアリス」のアニメを見たときの驚きをよ 意げに喋るのを聞いていて、無性にむかつい もうずっと昔の子供の頃、「不思議 高校生の時に、英語の授業で・ Alice in チェシャ猫のニタニタ笑いの 0) 時

す。

ます。」と呼ばれて診にいくと、実は生理的 ました。 石灰化だったということが、以前は時々あ てきて、 できません。当直医から深夜に電話がかかっ フィルム画像は手元になければ見ることは また、 「脳出血ですのでよろしくお願いし 朝 病院に到着するや当直医

必要です。詳細は今回割愛しますが、Wi-Fi

スポットの普及や次世代電話通信

現在のところちょっとした工夫が

ついては、

部 CT のようなデータ容量の大きい画像に や遅いですが)実用レベルと思われます。 いては、3G電話回線でも(通信速度はや

腹

CDや USB メモリで、実際に携帯して持 純写等のデータ容量が比較的小さい画像につ その技術を普及させつつあるのが iPad です。 方から診に行く」ことが可能となりました。 す)、最近になってデジタル通信で,自分の するという方法もありますが非常に煩雑で ち出す。必要がありましたが(メールに添付 ち出すことができます。ちょっと前までは、 慮してしまうのもわかります。 学を専門としない当直医の立場で考えれば遠 に稼働しています。頭部CT・MRI、 !稼働しています。頭部CT・MRI、単当院では、iPad を使用した遠隔読影が既 デジタルデータ画像は簡単にどこへでも持

iPad 接続イメージ↑ まい、西暦二○一○年の現代へ転 向上するものと考えられます。 規格の登場で、さらに使い勝手が ることをその目で見てきて知って 自由に移動させることが可能にな ル情報という概念があり、 がりでたんです。 歩中に誤ってうさぎ穴に落ちてし す。「キャロルは、 積分と言ったあの英語教師にもう 度会ったらこう言うつもりで チェシャ猫のニタニタ笑いを微 そこで、 ある日庭を散 情報を デジタ



### ワイ視察研修二 耳鼻咽喉科

髙岩一貴

スも多発しているようです 現実もあります。通常外来は完全予約制なので、受 の保険料に応じた医療サービスを享受しています。 その殆どは保険会社の任意保険に加入しており、各々 カの医療保険は日本の「国民皆保険」ではなくて、 うことを先ず理解する必要があるようです。アメリ 診療費未払いによる多額の損益を病院側が被るケー 診拒否出来ない救急外来に保険未加入患者が殺到し、 しかし医療費と保険料が高いので、総人口の六分の 一、約四五○○万人が医療保険未加入であるという アメリカの医療システムは日本のそれとは全く違

の意味合いを持っています。少しでも優れたスキル どが開業医として働いています。病院外来棟は厳密 院双方により多くの利益が得られる…という資本主 れば、入院手術も増えて病院収益が増し、医師と病 を持った医師に診療所を提供して外来患者数が増え には存在せず、「病院が医師個人に賃貸する診療所 義的経営を行っている訳です 医師と病院の関係も違います。日本では医師は「勤 一か「開業」していますが、アメリカではその殆



↑ Pali Momi Medical Center

際立っているということと、貧富の差がそのまま医 視察を通じて感じた事は、費用の無駄を出来る限り 療サービスにも直結する現実があるという事であっ カットしながらも効果的な医療を目指している点が タント) に各施設の案内をお願いしましたが、訪問 ノミヤ氏 (ハワイ在住の日系一世、 今回のハワイ研修は、 昨年と同様アンディー・ニ 病院経営コンサル

強いられる ICU スタッフに少しでも働きやすい環 の無邪気に遊ぶパネル写真が飾ってあり常に緊張を 壁一面や天井、カーテンにまで木々の緑や空の雲の る有名なマルチタレントだった。病院宣伝活動の為 Chun という KGMB ハワイテレビ局などにも出演す る配慮なのではないかと考えた。 境を作るための配慮だとの事で、織田病院でも出来 入り口廊下から室内に至る壁に病院スタッフの子供 少しでも癒す心配りが印象的であった。ICU には 写真がプリントしてあって緊張しがちな患者さんを 状の緊急性を即座に判断して専門科に引き継ぐシス ERで、ハワイ州二位の救急患者数受入れを可能に のより効果的な人選だと思いました。特記すべきは 提携した総合病院で院内を紹介してくれたのは Liz テムが構築されていました。 他にも CT 検査室内の している急性期専門病院らしく、ドクターを頂点と したトリアージチームが効果的に機能しており、病 Pali Momi Medical Center:織田病院と今年姉妹

診を行っている。予防医学に重点を置くのは今後の 併せて婦人病早期発見の為の啓蒙と年代別婦人病検 ガ教室等を定期的に催すことで施設訪問を促進して、 モミ病院のサテライトクリニックで、料理教室・ヨ 日本でも必要であろう事から、参考になると思う。 KMCW&C:カピオラニ婦人科専門センターはパリ

る。 必要としない低侵襲手術はこのような病院で行われ くのモール内にある「日帰り手術専門病院」。入院を Surgicare of Hawaii:ハワイ大学医学部付属病院近 耳鼻科でも日帰り可能な手術は沢山あるのだが

観光バスに酔い潰れ、

災難に見舞われながらのス

はずが、顔は青白くテンションも最低。

飛行機と

対する行政補助金が引き下げられており、 リ専門病院。アメリカではリハビリテーションに 各病室とリハビリ室を同階に置いたり、PT・OT・ ST も各病棟専属にしたりとスムーズなリハビリ処 ベッド稼働率が悪くなっている印象だった。しかし The Rehabilitation Hospital of the Hawaii:コハビ 訪問時も

原崎師長と土井課長の弁。 置が出来る環境が整っていたのは参考になる、

はないかと思った。 の体力増進の為にこのような施設があれば良いので ルで利用可能な施設であった。織田病院でも高齢者 レーニングジムで、入会金五十ドルと月会費四十ド Club50+: 50歳以上の男女を対象にした軽負荷ト

ジム、映画試写室も完備、地下には駐車場もあっ た効果を上げるのかも楽しみなところである。 院間連携プログラムが始まるであろうが、どういっ 間であった。今後、織田病院とパリモミ病院での病 総論的見学としては少ない時間ながら充実した三日 六十万円~百万円の家賃が必要…富裕層対象である。 事だった。但し入居するには預託金が六千万円、月 て、ここから普通に通勤する入居者も沢山いるとの テルで食堂もレストラン風。プールやフィットネス ある。老人ホームといっても入居棟はまるで一流ホ 棟可能な医療介護型病床付きの高級老人ホーム」で 実際の外来や手術などを見る事は出来なかったが、 Kahala Nui:この施設は一言でいえば、「即日転

# ワイ研修を終えて

西岡葉子

長からも説得され参加してみることに。 され、ついに来ました『ハワイ研修』参加指令。 必死の説得と、先輩や師長さらには西村前看護部 二つ返事で丁重にお断りをした私ですが、 初めての海外に胸を躍らせ♪到着したハワイの まだ秋の気配も見えない九月。師長より手招き 同僚の

目でした。 る方々が目の前で・・・♪。驚愕と感動の二日 たポリネシアンショー。これぞ肉体美」と思われ り仰天!。さらに理事長に連れて行っていただい では虫垂炎の日帰り手術が六百万円と聞きびっく タートでした。 気を取り直しての二日目研修日。まず、ハワイ

んで最大限に楽しみました。なかには人命救助に 研修が終わればハワイを満喫。寝る時間を惜し

> 携わった人もいて、さすが織田病院ナース!と感 き回りました。 激。またハロウィンでは、全員プチ仮装で町を歩

とは

はんを食べたいね。なんて話しながら帰路につき と思えば心はもう日本に完全シフト。味噌汁とご さて充実したハワイも最終日。もう帰るだけだ

せて、 思います。参加を説得してくれた方々、そしてそ たが、このような機会を頂き参加してよかったと した妹とご飯を食べながら思い出話を家族に聞か 帰宅後、我が家は豚汁とから揚げ。一緒に参加 初日から災難に見舞われながらのスタートでし 、長いようで短かったハワイ研修が無事終了。 協力してくれたスタッフ皆さんに感謝をこ \*ありがとうございました <sub>\*</sub> 。



ハワイ研修参加者



### | 膚科 小野槙子

田

〔専門領域〕 〔出身大学〕 〕 佐賀大学医学部皮膚科〕 佐賀大学医学部

の臨床研修を終賀大学で二年間 と申します。 膚科の小野槙子 させていただい ております、 病院に勤務 年十月より 佐 皮

え、 科に入局し、も 同大学皮膚 ます。

附属病院皮膚科に勤務しておりましたが、それま でしたが、スタッフの方々にはとても良くして頂 科でお世話になっております。時期はずれな転勤 代でやって参りました。 で織田病院でお世話になっていた桑代先生と交 うすぐ一年となります。 子先生のもと皮膚科で、 緊張しつつも楽しく働きだすことができまし 右田尚先生のもと形成外 織田病院では主に織田洋 昨年九月までは佐賀大学

も多くの出会いがありました。そして、同じ病気 たいです。 の悩みを抱えて受診されます。私は織田病院に来 笑顔になれるように元気にお手伝いをしていき 未熟者ですが、皮膚病で悩む患者さんが少しでも 数だけ治療法があることを感じました。まだまだ でも求められる治療は人それぞれで患者さんの てまだ三ヶ月しか経過しておりませんが、それで 皮膚科の外来には毎日大勢の患者さんが皮膚

のことを見て、学びたいと思っています。 があり、褥瘡治療も勉強させていただいています。 これらは、皮膚科の私が形成外科の領域に触れる います。また、金曜日の午後には入院の褥瘡回診 木・金曜日の午前中の手術に入らせていただいて ことの出来るとても貴重な時間で、少しでも多く 形成外科では、火・水曜日の午前中の外来と、

います。ご迷惑をおかけすることも多いと思いま この機会に織田病院で少しでも多くのことを これからも宜しくお願いいたします 小さくてもみなさんの助けになれればと思

## 患者サービス向上委員会 取り組み

患者サービス向上委員会 織田洋子

清掃・清潔・しつけ・センス)』を積極的に 挨拶』の徹底を、二大目標に掲げ活動してい 推進すると共に、 取り組みとして、『6S活動(整理・整頓・ 患者サービス向上委員会では、 接遇の基本である『笑顔と 病院全体

更に現在は各部署からなる「ピカピカ隊」を 場環境の充実・整備に力を入れてきました。 活動が認められ、 なってきています。また、このような地道な ているだけでなく、病院スタッフ全体の意識 これらの活動は医療安全や院内感染に貢献し 結成し、定期的に院内巡視を行っています。 スキーパーを配置し、徹底した療養環境、 付けにも役立ち、 の病院リニューアル時より院内に専従のハウ 特に6S活動への取り組みは、平成十四 6S活動が当院の文化に



患者サービス向上委員会

皆さんご協力お願いいたします。

	活動內容			
H22 4月	院内・院外モニターチェック			
5月	1			
6月				
7月				
胡用	ビカピカ隊(週1回 火曜日)			
9月				
10月		朝礼発表マナー向上への取り組み(毎日)		
11月	(中止)	挨	挨拶運動	
12月			朝礼聞き耳	なりマナー向上への取り組み(毎日
H23 1月				
2月				
3月				
4.Fl				

·年間の取り組み

ビス向上に取り組んで参りたいと思いますの ズにし、明るい職場作りにつながります。 すれ違った時、 ちたいものです。更に『笑顔と挨拶』はスタッ すか」と添えるだけの心の余裕と優しさを持 現場で働くプロとして、どんなに忙しくとも、 癒され、和まされるそうです。 の皆さんの『笑顔と挨拶』に安心感を覚え、 んなに高い医療技術や看護よりも、スタッフ 当院の最も大切な心がけです。昔から、医療 の病院方針」にも掲げられておりますように、 フの行動基準」だけではなく、「平成二三年 の5を得ることができました。 しません。笑顔と、日常の挨拶が連携をスムー フ間のコミュニケーションにも重要です。 においては、 『笑顔と挨拶』を忘れないで、一言「如何で 人にとって最高のおしゃれは笑顔と言います 『笑顔と挨拶』の徹底を中心として、患者サー これからの一年も、『6S活動』の推進と、 次いで、『笑顔と挨拶』については、「スタッ 身も心も病んでいる患者さんにとってど 療養環境部門において最高評 知らん顔されたら、いい気は 私たちは医療

ご相談ください。 はきやすく脱ぎやすいが、 勝手に脱げない(甲の部分 をマジックテープなどで止 めるタイプもよい。 靴の壁構造が足全体を包 み、足がぶれたい 足がぶれない 」かかとは乗らかいがつぶれ にくい 】 爪先がやや上方に反っている(つまずきにくい) 靴底が適度に柔らかく、 \* 地面積が広く滑りにくし (長靴のようなゴムは危険 靴選びのポイント↑

## 〜靴につい

医

療安全委員

ハビリテーション科 ·てく

三原悠輔

といわれています。とくに、つっかけ・スリッパ・ のポイントをお教えします。 サンダルなどです。今回、転倒予防のための靴選び した。高齢者の転倒の約四○~五○%は履物が原因 昨年十一月に当院売店で靴の取り扱いを開始しま

きます。 プリングによりこのすり足歩行を防止することがで 歩行となり転倒が起きやすくなるのです。トゥ・ス ち上げることが出来なくなり、これによってすり足 キレス腱の柔軟性が低下するためつま先を十分に持 力が低下し、下腿三頭筋(ふくらはぎの筋肉)とア 髙齢になると前脛骨筋(足の先を上げる筋肉)の筋 UI持ち上がっていること(トゥ・スプリング)です。 ポイントの一つは、つま先が地面から二:五~三:五

得ることが出来ます。これらのことより、 れましたら、まずは当院リハビリテーション科まで して、足首と踵とのブレが軽減し前方への推進力を がしっかりしている靴は脱げにくく安定します。 (ヒール・サポート)です。 かかとを包む部分 (月型) 定性が向上します。 靴の購入を検討されている患者様や知人などおら 歩行の安 そ

していて衝撃を吸収できるようになっていること

二つ目は、かかとを包む部分(月型)がしっかり



今回は、昨年10月に就任された 徳田俊江看護部長にご登場いただきま した。



**使田俊江看護部長** 

織田病院の印象はどうですか?

看護部長) 将来構想がキチンとしていて、働きやすい病 院だと思います。

また、清掃が行き届いたきれいな病院ですね。 スタッフもみんな明るくて…("笑")。

今年の目標をお聞かせください。

看護部長)教育体制は整っているけれど、内容を充実さ せたいですね。

> 自信をもって働く看護師が増えてほしいです ね。

ご趣味はなんですか?

看護部長) 福岡生まれの佐世保育ちです。

お生まれはどちらですか?

看護部長) こう見えて園芸 (ガーデニング)、果実酒作り。 料理も好きで野菜ジュースを使ってカレーを よく作りますね。

九州八県に住んでいたので、各県の訛りがあっ

てどこの出身?と言われていました("笑")。

これまで国立病院での勤務が長く民間病院での勤務は初 めてとのことでしたが、とても話し好きで、どんな質問に も笑顔を絶やさず答えていただき、楽しいインタビューで

> (インタビュアー 谷口、下田)

今1番行ってみたい所はどこですか?

看護部長) 若い時にはよく旅行に行きましたよ。 今ね~?もう1度行くなら屋久島かな? 暖かい所が好き("笑")。

ろしくお願いします。



日々成長していけるようにがんばります。 みたいです。 ③明るく、楽しく過ごして行きたいです。

旅行にも行きたい。 買い物もしたいし、 だ十七才です。 です。気持ちはま ①早かったの一言 けど、やっぱり呑 二階療養棟 介護士 2

柄な私なので,笑顔を絶やさず楽しく,をモットーに行ってお酒に強くなりたいです。③元気だけが取り 日々成長していけたらなあと思います。ご指導の方よ 持ち頑張って行きたいです。②いろんな所に飲みに うので感謝の気持ちを忘れず、

社会人として責任を の方々の支えが く思います。周りえる事ができ嬉し ①無事成人式を迎 の自分があると思 あったからこそ今 栄養科 淵野希

笑顔を忘れず、明るく元気に仕事に遊びに充実させた です。②いろんな人と楽しくお酒を呑みたいです。③ にこたえられるように、

今以上に仕事をがんばりたい 実感しています。 になったのだなと らった両親の期待 これまで育てても やっと私も二十歳

①成人式を迎えて、 等 業 業 料 調 業 利 調 調理師

左記の三点につき質問に答えていただきました。 柘愛会では七人の方が成人式を迎えました。 ②成人してやってみたいことは? ③自己PR ①成人を迎えた感想は?

んでみたいです。③健康第一でがんばります。 ②友達とかと行ったことのない所に旅行にいって楽ー

せんが、今まで以 仕事ができたらい 上に責任をもって

いなと思います

いう実感は湧きま

①成人を迎えたレ 緒方恵利 給食科

6

程度で・・・。③まだまだ迷惑をかけると思います。 ンガン参加していこうと思います。人に迷惑をかけない 後もご指導よろしくお願いします。

大河内莉彩

める歳になったのと人前でお酒が飲 と思います。②堂々 少しは落ち着こう ① うれしいです 飲み会にはガ 今

できたら良いなぁっと思います。 をしたいです。②たくさん楽しいことや嬉しいことが ③迷惑をかけないと 時間が過ぎるのが 責任を持って仕事 実した時間を過ご 早いと聞くので充 ①二十歳になると したいです。また、

うに頑張りたいと思うのでよろしくお願いします。

中山瞳

溝上修平

をもってがんばります。 ん思い出を作りたいです。

③大人としての自覚と責任

毎日楽しくすご

②いろんな所に依

行にいってたくさ

ていきたいです

①成人を迎えてレ

田中美由紀

てもうれしいです

### 事務作業補 0) 助

で局後

など各部門に協力を依頼しそれぞれは、医事課、診療録管理室や放射線

度を導入 人事課長 院患者の対応、手供護師不足が社会問 宮崎公志

て

|師事務作業補助

る者の資格、

修を行わせた

いと思っております。

。また、薬科、薬

となり、日本で |書類作成も業務の中で大きなウェイトを占方、検査オーダー、影断書作品などの『『帰 ています。 と激務に追われて り、医師は外来・入院患者の本では医師不足、看護師不足 V 、ます。 **診療録の記載、** の対応、手術、 足が社会問題

め的処当

スタートし現在は常勤六名体制です |○年度の ました。当院では常勤二名者」(以下医局秘書) の配 の事務業務を の診療報酬改定で、 当院では常勤二名、 j 置に点数が 「医師事 る目 的 で、 一名で

れ助

護師レジーでに時間 でないため、医局秘書の能力が発揮されるましかし医局秘書への教育システムがまだ十分師の負担軽減に大きな成果が挙がっています。診断書作成業務や診療・検査予約業務など医診断書作成業のである。 をどの グシステム 時間 がかかっているのが現状です。め、医局秘書の能力が発揮され ように のため、 たの医学知識が求められ、、、医師法、薬事法などの 医師法、薬事法などの法令や看かっているのが現状です。 医医局秘書の能力が発揮されるま番への教育システムがまだ十分 などの 行 っていくかが大きな問題とそれぞれの知識・技術習にい知識や技術が求められ パソコンスキル、 オーダー 薬剤、 でした。 身の健康とモチベーション」、「スタッフ教育」者様中心」、「支える家族の想い」、「私たち自 者様中心」、「支える家族の想い」、「私たち自利用者様の高齢化と重度化」、「患者様・利用 あ に心しておく重要なテーマです。

でし師診

ま

リ

↑医師事務スタッフ だしの医でツ現あがム育のりないて教学医 I 代り急のシ院 これでいる ない 育知師マママ な 様 ス内れいたを識にンン。で築テ教らお 今いたを識にンシ 仲間を作り がし、この」でした ター 0)

でした。

0)

松下英代先生による「自分が目指すも

れた松下先生の夢に向かう実行力にた。佐賀県で初の救急看護認定看護

らし

を作る」

近

な夢をもつ」、

「同じ夢をも

ことの大切さを実感できた、

ゆ

在宅サービス課長代理 が 日 な嬉野温泉コ、恒例の 「大正屋」 回 で 開 う

い昨

含む13題の演題でした。 催されました。 第Ⅰ ·研究発表会」; ·年十二月十八日 ・第Ⅱ群のキーワード 今年はQC活動の発表4 は、 を開

患者様

特別講演は、以前当院にも勤務されたこと活動や発表に期待したいと思います。 活動はまだ緒についたばかりですが、今ユニークなサークル名での発表でした。 サー 'ある佐賀大学医学部付属病院救命救急セン サービスの質の向上」を目指し、今回初となるQC活動の発表は、 それぞ さらなる 今後 Q C ħ 0

。私たち医療人・福祉人にとっては常

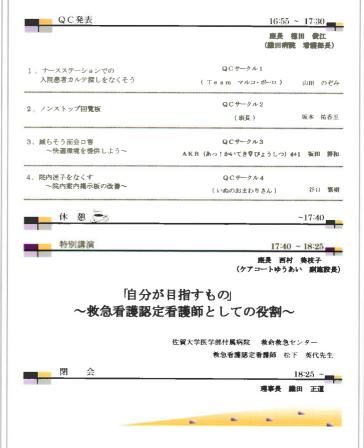
グループホームゆうあい

本 みちろ

を信じ よう、 で大きな将来性を秘めているものと思います。れますが、医師の事務作業補助は非常に重要り、現時点では発展途上の職種であると思わ病院において、医局秘書は新しい職種であ と思って などスキルアップに必要な資格支援も いきたいと考えています。 不足 ひとつひとつ課題を克服していき \_ 日でも早く専門職として自立できる足が囁かれる今日、救世主となること 位支援も整備上的療情報管理上

### 第15回ゆうあい研究発表会プログラム 開 15:30 院長 西山 雅則 発表会進行案内 15:35 ~ 16:10 座長 重松 かおり (撤田南院 4階南椋師長) 1. 造影刺繍れゼロを目指して 織田病院 診療技術部放射線科 菅原 祐平 2. 「ととのいました!SPD物品管理 織田病院 診療技術部検査科 古賀 圭信 3. 唾液腺マッサージと保湿剤を活用した 口腔ケアの阻害因子について 織田病院 看歸部3階病核 満岡 政美 4. Change Challenge 居宅 ゆうあい介層保険サービス 西田 寛子 16:10 ~ 16:55 第二 座長 神代 修 (在宅サービス部職長) 1. 手術室・内視鏡看護師の弾性ストッキング着用による 織田病院 手術センター 下肢周囲径と足部愁訴の変化 江口 美美子 2. 看護必要度と看護師の熟練度の関係について 織田病院 看聽部4階病棟 ~ナースコールの回数から考える~ 3. 看取りとしてのエンゼルケア 織田病院 看講部3階病補 ~家族にエンゼルケア参加を呼びかけて~ 野中 妻子 4. 排泄ケアへの取り組み ケアコートゆうあい 1階標券棟 ~スタッフの意識向上を目指して~

5. CPATを使ってケアスタッフの主体性を引き出す方法



### 学会(研究会)・講演(講義)・論文発表(平成22年)



### 【学会(研究会)発表】

◎医学関係◎

- ・第288 回日本内科学会九州地方会(1月30日 九州大学医学部百年講堂)大串昭彦、坂田泰志、江口仁、西山雅則、角田光子、朝長元輔、井手康史、松永圭司、福野裕次「胃粘膜下腫瘍様隆起で発見された腎動脈瘤の1例」
- ・第99回佐賀肝臓懇話会 (2月26日 マリトピア) 井手康史「C型慢性肝炎と肝細胞癌~定期的フォロー アップの重要性~」
- ・第91回佐賀県皮膚科懇談会(4月3日 ホテルニューオータニ佐賀) 織田洋子「NSTと褥削対策チームの連携による効果~院内褥削発生率の推移から~」
- ・第25回総合診療ケースカンファレンス(5月19日 マリトピア)朝長元輔「肺癌治療後に精神症状を呈 した症例」
- ・第111回日本耳鼻咽喉科学会(5月20日 仙台国際センター) 片岡和子、梅崎俊郎、小宗静男「耳鼻咽喉科領域をカバーする検査/画像/映像ファイリングシステムの音声嚥下外来での活用」
- ・平成22年第2回佐賀県西部消化器勉強会(5月27日 武雄杵島地区医師会)坂田泰志「高齢発症のアレルギー性紫斑病」
- ・第289回日本内科学会九州地方会(5月29日 大分大学医学部)朝長元輔、坂田泰志、大串昭彦、井手康史、松永圭司、福野裕次、福田佳代子、西山雅則「シェーグレン症候群患者に合併したヘルペス食道炎の1例」
- ・第92回佐賀県皮膚科懇談会(8月21日 ホテルニューオータニ佐賀)桑代麻希「当院における帯状疱疹の統計」
- ・平成22年第3回佐賀県西部消化器勉強会(8月26日 武雄杵島地区医師会)松永圭司「進行胃癌様の形態をとった早期胃癌(m癌)の1例」
- ・第290回日本内科学会九州地方会(8月28日 佐賀大学医学部臨床講堂 2階)内藤優香、坂田泰志、大串昭彦、朝長元輔、井手康史、松永圭司、福野裕次、福田佳代子、西山雅則、「高齢で発症したアレルギー性紫斑病の1例」/大串昭彦、坂田泰志、内藤優香、朝長元輔、井手康史、松永圭司、福野裕次、米満伸久、西山雅則「薬剤性の collagenous colitis の1例」
- ・第26回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術大会(10月2日 東京UDXカンファレンス)柿添亜矢、栗山一道、「舌炎に対する清熱補気湯の使用経験」
- ・第20回日本耳科学会(10月7日 松山市)高岩一貴、 小宗静男「耳硬化症の聴力像と画像評価」
- ・第90回日本消化器内視鏡学会九州支部例会(11月12日 沖縄コンベンションセンター)朝長元輔、坂田泰志、松永圭司、中野良、内藤優香、江口仁、大串昭彦、井手康史、西山雅則、福田佳代子、水口昌伸「十二指腸上行脚の原発性十二指腸癌の1例」/奥山桂一郎、佐藤建、篠崎由賀里、坂田泰志、井手康史、松永圭司、森倫人「極めて稀な胃原発絨毛癌の1切除例」
- ・第 26 回総合診療ケースカンファレンス(11 月 17 日 マリトピア)大串昭彦「網膜中心動脈分枝閉塞症 から脳梗塞を発症した 1 例」
- ・第99回日本耳鼻佐賀県地方部会(12月4日 佐賀市) 高岩一貴、片岡和子、柿添亜矢、織田正道.「当科に おける耳科手術統計」/柿添亜矢「エキス剤を使った 清熱補気湯の使用経験」
- ・第93回佐賀県皮膚科懇談会(12月11日 ホテルニューオータニ佐賀)小野槙子「妊婦に生じた無症候性紅斑の一例」
- ◎看護・介護・リハ・放射線・福祉・栄養食事・事務部・健診関係◎ ・第9回佐賀NST研究会(1月30日 マリトピア) 牛島久美子「NSTと褥瘡対策チームの連携による効果 ~院内褥瘡発生率の推移から」
- ・第8回医療マネジメント学会佐賀地方会(2月6日 佐賀市アバンセ)北川操子、久富久美子、下田尚子、

- 前川ゆみこ、井手康史「インターフェロン患者のうつ症状の早期発見~SDSを活用して~」/田島まり子、原和行、江口利信、西村美枝子「退院支援の効果の検証一退院支援アンケート結果より一」
- ・第5回鹿島・藤津地域リハネットワーク研究会(6月9日 鹿島市エイブル)一ノ瀬英治「慢性心不全の心臓リハビリテーションについて」
- ・第12回日本医療マネジメント学会学術総会(6月12日 札幌コンベンションセンター)牛島久美子、佐藤建、大串昭彦、右田尚、江口仁、辻由香里、松尾加奈子、前川ゆみ子「NSTと褥瘡対策チームの連携による効果―院内褥瘡発生率の減少を目指して」
- ・平成 22 年度佐賀県放射線学術大会(6月20日 ホテル龍登園)坂田善和「当院における放射線機器管理の見直し」/安部仲和「放射線科における医療安全に関する取り組みと今後の課題」
- ・佐賀県栄養士会シンポジウム「栄養サポートチーム の専従を目指して」(7月31日 佐賀県看護協会) 牛島久美子「当院のNST活動」
- ・第57回日本栄養改善学会学術総会(9月11日 女子栄養大学)牛島久美子、辻由香里「食事に対する患者満足度の向上を目指して~入院時食事聞き取りの実施~」
- ・第8回志田病院研究発表会(9月25日 鹿島市エイブル)山下のぞみ「在宅復帰に向けての当院での関わり」
- ・全国認知症グループホーム大会 (9月27日 東京 ベイホテル東急) 峯みちる「介護士の主体性をひきだ すケアカンファレンス」
- ・第52回全日本病院学会(10月10日、11日 神戸国際会議場)中村典弘、中村知弘、坂本祐香里、宮崎公志「事務部門における BSC 導入による成果」/安部伸和、坂田善和「放射線科における医療安全に関する取り組みと今後の課題」/牛島久美子、辻由香里、森田智美、清原英之「栄養補助食品の形態の検討 ~メイバランスフルーチェの導入~」/田島まり子、西村美枝子「当院の退院支援の現状と課題」/ 岡博子、前田美恵子、原崎真由美、西村美枝子「看護必要度評価に関する病棟教育の実際」/野中智子、江口富士子、草場圭子、河口千晴、西村美枝子「シャワー浴を取り入れたエンゼルケアー~看護師が関わる最後のケア~」
- ・佐賀県介護老人保健施設協会職員研修会(10月28日 佐賀市文化会館)山口リカ、山本由希、吉田理衣、 栗山礼子、池田亮子「誤嚥性肺炎を繰り返す利用者様 への口腔ケア」
- ・日本医療マネジメント学会第9回九州・山口連合大会(11月5・6日 佐賀市文化会館)牛島人美子、佐藤建、大串昭彦、右田尚、河口千晴「褥瘡患者に対する NST 介入の効果」/池田典子、伊山明宏、江口利信、田島まり子、小柳まゆみ「4年間の「外来フォローアップシステム」を振り返って」/重松かおり、井手眞由美、西村美枝子、伊山明宏「転倒・転落事故予防対策の効果~環境パトロールによる安全管理と職員教育~ 」/田島まり子、原和行、江口利信、西村美枝子「当院における退院支援の取り組みを振り返って」
- ・全国介護老人保健施設 in 岡山大会(11月11日 ホテルグランヴィア岡山)石橋優子、栗山礼子「排泄ケアへの取り組み」
- ・佐賀県理学療法士南部地区症例検討会(11月14日 武雄杵島地区医師会)三原悠輔「COPD、慢性心不 全を呈した症例」
- ・第5回九州放射線医療技術学術大会(11月20日 崇城大学市民ホール)坂田善和「当院における放射線 機器管理の見直し」
- ・日本認知症ケア学会東北地域大会(12月1日 アイーナいわて県民情報交流センター) 北川英俊「介護士の主体性をひきだすケアカンファレンス」
- ・佐賀県認知症グループホーム実践報告大会(12月

10日佐賀県教育会館)峯みちる「スタッフのやる気 とプロ音識をひきだす方法」

### 【講演】

○医学関係

- ・唐津漢方講演会(2月16日 唐津地域総合保健医療センター) 柿添亜矢「耳鼻科領域の漢方治療」
- ・第24回鹿島市みんなの集い (3月14日 鹿島市民 会館) 井手康史「糖尿病について」
- ·西部耳鼻科医会(5月13日 佐賀市)高岩一貴「好酸球性中耳炎」
- ·西部耳鼻科医会(10月14日 佐賀市)

片岡和子「喉頭ストロボスコピーの有用性について」

- ・平成22年度第1回栄養士研修会(10月21日 織田病院6Fセミナー室)織田洋子「食物アレルギーについて」
- ・鹿島市乳癌予防研修会(11月5日 鹿島市エイブル) 伊山明宏「もっと知ってほしい!乳癌のこと」

◎看護・福祉関係◎

- ・日総研セミナー(6月26日 福岡センタービル) 田島まり子「リエゾンナース配置による退院支援の取り組み」
- ・日総研セミナー(7月10日 日本橋ビジネスセンター)田島まり子「リエゾンナース配置による退院支援」
- ・滝山病院退院支援研修会(7月11日 滝山病院) 田島まり子「当院における退院支援の取り組み」
- ・佐賀県看護協会研修会 (8月11日 佐賀県看護協会) 田島まり子「退院調整における看護師の役割」
- ・日総研セミナー(8月21日 愛日病院)田島まり子「リエゾンナース配置による退院支援」
- ・佐賀中部広域介護支援専門員協議会神崎ブロック研修会(9月10日 千代田町保健センター)江口利信「医療連携について MSW からケアマネジャーに求めるもの」
- ・武雄地区医療連携看護研修会(9月29日 武雄杵島地区医師会)江口利信「地域連携室を上手に活用するために」

### 【講義】

◎医学関係

- ・鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義(4月 13・20・27 日)織田洋子「人体のしくみ働き一皮膚科」 ・佐賀大学医学部医学科3年生(4月26日)西山雅則「地域高齢者医療―介護と在宅医療」
- ・佐賀県立看護学院保健学科講義(6月8日)西山雅 則「地域医療と高齢者保健指導」

◎看護・福祉関係◎

- ・佐賀県産業技術学院講義(1月29日、2月5日、7月16・20日)江口利信「介護における社会福祉援助技術」、「社会福祉援助活動の基礎理解」
- ・鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義 (4月 16・23日) 江口利信「保健・医療・福祉のしくみ」
- ・嬉野医療センター附属看護学校講義(6月9・23日、7月7日、9月8・15・22日)小森ヒロ子「在宅看護論」

### 【論文・著書】

- ・坂田泰志、江口仁、大串昭彦、朝長元輔、松永圭司、 坂田祐之、藤本一眞、水口昌伸: 胃粘膜下腫瘍様の形態で発見された腎動脈瘤の1例 日本消化器がん検診 学会雑誌、48(3),362-366,2010.
- ・西山雅則在宅医療を支援するための当院の取り組み 日臨内科医会誌、25(6),164,2010.
- ・田島まり子リエゾンナース病棟配置による退院支援 と病棟看護師教育 地域連携 3 (2),16-28,2010.
- ・田島まり子退院調整の日々 ナーシング・ツウデイ、23(5),80,2010.

### 3,2





ず様の美肌のご利益にあずかろうと、元旦か 流しつるつるの美肌にしてくれます。 含む重曹泉で、皮脂や分泌物を乳化して洗い ち並んでいますが、お湯はナトリウムを多く の近くには古くからの源泉もあり、旅館が立 社の池に大なまずがすんでいた事から、 様だったと言われています。 姫を祭っています。その容姿は大変美しい神 ら多くの女性観光客が参拝に訪れます。 には「なまず社」が建てられています。神社 代より竜宮城の乙姫様として崇敬される豊玉 また、かつて神 白なま 境内

com/ataka/index.htm をご参照ください。) くはホームページ http://www.spa-ureshino 年一月二十九日~二月二十日までです。詳し ますので立ち寄ってみてはいかがでしょう 舞笠などが披露され、幻想的な夜を演出して います。温泉湯豆腐にふるまい酒などもあり つとなり、百句百灯の灯籠、 二月にはうれしのあったかまつりの会場の (うれしのあったかまつりは平成二十三 郷土芸能の面



嬉野市の西部にある豊玉姫神社は、室町時

ブックエンド

病院図書室



安保徹著「疲れない体をつくる免疫力」

三笠書房 二〇一〇

かし。 想。では、 科学は死を正確に定義できない。宗教は妄 私たちは死をどう捉えればいいの

る方向からアプローチしていきます。「死\_ 解らないから恐怖を覚える。死について理解 しての自我」等々「死」を科学や宗教あらゆ やすい言葉・論理で上梓してあります。 仏教いずれにもとらわれない生死感をわかり したら消えていく恐怖感もあるかもしれない につながるのです。漠然とした「死の世界」。 を考えることがよりよい「生」を生きること 義する」、「自分とは何か」・「免疫システムと いです(理解できないが正解でしょうか)。 い方程式もでますが理解する必要はないみた 本仏教界での僧籍も持つという著者の科学と れて手に取りました。脳機能学者であり、 本書のオビに書かれたこの書き出しに惹か 「宗教は死の専門家」、「生物学的に死を定 日

生を生きること」という、言わば当然のこと 緒でその行程を楽しむこと。人生の目的は「人 地点にたどり着くことではなくドライブと一 と著者は言います。でも、人生の目的は最終 にたどり着かせるためのナビゲート的な一冊 人生の最終目的地は明らかに「死」である

武雄 JCT

城野市

豊玉姫神社

嬉野 IC

四階病棟主任 前田美恵子

### 新着図書

池上直己著「ベーシック医療問題〈第四版〉」 日経文庫 11010

カール・ジンジャー著、矢野真千子訳 「大腸菌~進化のカギを握る生命体~」

NHK出版 二〇〇九

苫米地英人著「生と死の取り扱い説明書」 kkベストセラーズ 二〇一〇

を結ぶ架け橋となるものになっていければ 更なる介護分野での需要が見込まれると思 ケアコートにおいても、 あったように今年は医療から介護への連携 は元旦から雪となり、平年にない寒波が続 よろしくお願いします。 な記事を書くことが出来ますので、 と考えています。皆様の活動があって色々 います。今後、 宅介護ゆうあいが六月にオープンし、 足と活動的な一年だったと思います。 ハレルヤ隊の復活、病院のピカピカ隊の発 ら始まり、カピオラニメディカルセンター おいて全国で最高の評価をいただいた事か となりそうです。昨年は、 が、医療・介護の一体化への時代の幕開け いています。仕事始めでの理事長のお話に (米国・ハワイ州) の国際姉妹病院との提携 明けましておめでとうございます。 院内報も病院とケアコート 、小規模多機能型居 病院機能評価に 今年も 。また、 今後、

(リハビリテーション科

ノ瀬英治

嬉野市役所

鹿島市方面-

と思えました。

(リハビリテーション科 一ノ瀬英治





